

佐世保日米協会 会報 (第2号)



JAPAN AMERICA
SOCIETY OF SASEBO
Bulletin (Vol. 2)

1986年 7 月 12 日 発行
(年 2 回発行)

佐世保日米協会
佐世保市戸尾町 4-5 佐世保中央病院内
☎ 0956-23-5546

- 佐世保日米協会の S60 年度の活動のご報告及び決算案と新年度の事業計画及び予算案のご承認をいただくために、7 月 21 日 (月) に、平瀬町・市民文化ホールにて定期総会を開催いたします。
今回は、議案を会報に掲載いたしました。

◆ 第 1 号議案

(1 号-1) 昭和 60 年度事業経過報告 (S60.7.1~S61.6.30)
(S60 年度前期分につきましては、会報第 1 号に詳しく掲載いたしましたので、項目のみ、ご報告します。)

- S60.7.20
総会 (市民文化ホール)
懇親会 (ハーバービュークラブ) 会員 180 名出席。
- S60.8.3~4
西海国立公園 30 周年記念 アメリカンフェスティバルに協賛。
- S60.10.25
日米関係研究会 (コミュニティセンター) 会員 130 名出席。
「日米経済問題と安全保障」
駐日アメリカ大使館政治部次長
ジェームス・J・フォスター講師
- S60.12.23
クリスマスパーティー (万松楼)
会員 230 名出席 (日 170 名, 米 60 名)
- S61.3.12
日米親善講演会 (コミュニティセンター) 会員 230 名出席。
「日米関係と佐世保」
米海軍佐世保基地司令官
S.W. コールボーン大佐
講演内容の一部を 4 ページに掲載しています。
- S61.3
地元企業の育成について米軍側に陳情。
- S61.5.17
第 2 回日米グランドピクニック (マッカーサーパーク)
会員 400 名出席 (日 270 名, 米 130 名)



第 2 回グランドピクニック

昨年同様、好天に恵まれ基地内のマッカーサーパークは、馬車の車輪をかたどった飾りつけなど、アメリカ西部牧場の雰囲気です。

富永会長が「皆様の間から日米友好の輪を広げて下さい」と、またコールボーン司令官が「この一年間に佐世保を母港とする艦船が 3 隻ふえ、5 隻になった。これからさらに日米間に理解が深まることを期待します」と挨拶されました。熊本からカントリーバンドを呼び、カントリーミュージックの中、バーベキューとビールで満腹した後、スクエアダンス、スイカ早食い競争、綱引き、など暑い中を汗いっぱい頑張ってくださいました。日米協会の会員や米軍側から提供された、陶器洋酒などのチャリティーオークションでは、日本語と英語でセリ値がかけられ、ユーモラスなひとコマもあり、益金 98,500 円は、心身障害者育成協議会へ寄付することができました。

(1 号-2) 会員数の推移

会員の皆様方のご協力とご紹介により、この一年間に多くの会員を迎えることができました。

	S60.6 月末	S61.6 月末	増 減
法人会員	94 (社)	148 (社) 158 (口)	+ 54 (社)
個人会員	324 (名)	347 (名) 424 (口)	+ 23 (名)

♥日米親善講演会

- 佐世保基地司令官S・W・コールボーン大佐を講師に迎えて開催されました親善講演会の内容のうち、最終部分(日米協会に関するお話し)の抜粋をご紹介します。



佐世保について注目に値することは、この日米協会のことが先ずあげられます。私はしばしば日米協会の会員の方々から協会に対して何を期待しておられるかということで尋ねられたことがございます。

大型艦や艦隊が佐世保に入港する時はいつでも佐世保市当局や商工会議所、そして日米協会は、将官や艦長、乗組員を歓迎して下さっています。時にはその歓迎行事はテレビで全国に報道されることもございます。

私たちにとってそれは日米両国が国家的レベルで達成しようとしております日本の支援の証しに外ならないと私は考えております。

日本は憲法の範囲内で努力されています。日本にアメリカ軍基地を提供し、アメリカはそこから日本の防衛に協力することができるのであります。しかし、みなさん方の中に多くの外人たちが交わるといことは必ずしも有難いことばかりではないと思います。

私たちは時にはみなさん方の文化を理解することができない為に、みなさん方から見れば大変馬鹿げたヘマをやらかすことがあります。しかしそのヘマをすることもしかたがない理由もある訳です。前に述べました歓迎行事は日本人とアメリカ人のアプローチのための第一段階でございます。しかし次の段階はより困難です。

佐世保市民のみなさん方は41年前にアメリカ人が最初に当地に参りまして以来この問題に取り組んで来ておられると思います。

先ず日本人にアメリカとアメリカ人にもっとなじんで戴く。次にアメリカ人に日本と日本人になじんでもらう事が肝要かと思ひます。

先ず最初に、もし日本のみなさん方が、もっとわれわれを理解して下さるならば、おそらくもっとたやすくみなさん方の中に私たち外人の考えというものを取り入れてくださることでありましょう。そして日本の最大の利益に結がる仕事をするために私共がここに来ておるといことも認識して下さることでありましょう。

次に棧市長さんも個人的にこの件には興味をお持ちですけれども、もしここに住んでおられるアメリカ人たちがもっとみなさん方の生活様式を楽しむ方法、やり方を

知るならば私たちは一層佐世保市の繁栄の為に多少なりとも貢献できると考えております。

若し私の提言をお許し戴けるならば、佐世保日米協会がより一層日米両方のために前述の2点でお力添えを下されば幸いです。勿論私共アメリカ人もより一層努力できるしまた努力すべきだと考えております。

私たちは佐世保市民のみなさん方が関心をお持ちの件に関しましてセミナーを開講することもできます。また英会話をもっといろいろの所で教えることができると思います。さらにアメリカのことについても日本語のビデオとかビデオテープをお見せすることもできると思います。そしてもし興味をお持ちならば地元の日本人の方々が日本や日本人についてアメリカ人が学ぶ機会を与えて下さることも必要だと思います。

みなさん方は素晴らしい国をお持ちです。そして素晴らしい民主主義のシステムを備えていらっしゃいます。しかしみなさん方がどのようにして自分たちの国を守るのか、ということについては、あまり真剣に考えておられないと思います。

日米間の条約は外部の侵略から日本を守るために日本とアメリカの政策を結合させているものであります。ですから日本の自衛隊とは兄弟のように仲良くしております。しかしながらその自衛隊が兄弟になることにさえ反対を説いてる人がいることも事実でございます。

若い東郷平八郎少佐が120年も前に見出ししましたこの佐世保は海軍基地として実に優れたところでございます。ここなら艦隊が西方、南方海域の海上を守るために容易に出港することができます。対馬海峡のような海洋に艦船を配置することもできるのであります。

米海軍基地の発展はいつの日にか、みなさん方が日本の防衛の全責任を必ず引継ぐだろうことを考慮に入れているのであります。

日本人であろうとアメリカ人であろうと誰にもこの素晴らしい海軍基地を商業用地に替えさせることのないよう強く要望しておきたいと思ひます。

確かに商港も発展させる必要性もあります。しかしながらこの海軍基地を犠牲にしてまでそうすることはさし控えて戴きたいと思ひます。(笑声わく)

家族全員で私は佐世保、つまり日本での生活を楽しましました。

これまで、そして現在も、みなさん方は佐世保の全てのアメリカ人の生活が快適になるようにご尽力下さっておられます。ほんとうに有難うございました。

心からお礼申し上げたいと思ひます。

(3月12日、5時30分より・コミュニティセンターにて)

◆編集後記

コールボーン司令官をお見かけしたところは、早朝の佐世保公園をジョギング、休日のアーケードを陽気にショッピング、そして中古のシビックでのドライブ。etc.

しかし何と言っても制服姿の司令官は、いつも完璧に決まっています。……今秋ごろ次の任地へ赴かれるそうですが、ますます大活躍されることでしょう。